

みずほCustomer Desk Report 2016/06/15号(As of 2016/06/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	106.09 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.19	1.1287	119.88	0.9633	1.4206	0.7377
SYD-NY High	106.42	1.1297	120.10	0.9668	1.4270	0.7405
SYD-NY Low	105.63	1.1189	118.51	0.9621	1.4091	0.7330
NY 5:00 PM	106.09	1.1204	118.89	0.9632	1.4118	0.7358
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.32/14.925	△25RR	2.723	Yen Call Over		
NY DOW	17,674.82	▲ 57.66	債券市場	日本2年債	-0.2730	▲0.8bp
NASDAQ	4,843.55	▲ 4.89		日本10年債	-0.1550	0.2bp
S&P	2,075.32	▲ 3.74		米国2年債	0.7221	0.8bp
日経平均	15,859.00	▲ 160.18		米国5年債	1.1378	1.1bp
TOPIX	1,271.93	▲ 12.61		米国10年債	1.6130	0.3bp
シカゴ日経先物	15,870	▲130.00		独10年債	-0.0040	▲2.8bp
ロンドンFT	5,923.53	▲121.44	為替市況	英10年債	1.1440	▲6.5bp
DAX	9,519.20	▲138.24		豪10年債	2.0490	▲5.3bp
ハンセン指数	20,387.53	▲125.46	商品市況	USD/CNH	6.6066	0.0094
上海総合	2,842.19	9.12		ドルインデックス	94.93	0.56
USDJPY 3M Vol	12.56	0.28%		CRB指数	192.208	▲0.69
USDJPY 6M Vol	12.09	0.24%		NY金	1,288.100	1.20
EURJPY 3M Vol	15.04	0.98%		WTI	48.490	▲0.39
EURJPY 6M Vol	13.98	0.86%		Dubai Spot	45.44	▲0.39

東京	東京時間のドル円相場は106.19レベルでオープン。日経平均株価が前日比マイナスで寄り付くも直ぐにプラス圏に浮上するとドル円は一時106.42まで上昇。しかし、再び日経平均株価がマイナス圏まで沈むとドル円も下落に転じ、その後は106円ちょうどを挟んでの動意に乏しい推移が続いた。なお、麻生財務相の「投機的な動きが継続することないよう、為替市場の動向を緊張感を持って注視する」との発言があったが、相場への反応は限定的となった。英国国民投票結果への警戒感からリスクセンチメントの悪化が意識されていることもあり、午後に入り円買いが強まり一時105.78まで下落した後、105.82レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は105円台半ばから106円台前半でのみ合い推移となった。105.82レベルでオープンすると欧州株が寄り付きから前日比マイナス圏で推移し、欧州コア金利が低下する中クロス円が下落、ドル円もつれ安となり一時年初来安値105.55に迫る105.63まで下落、106円台前半まで値を戻す場面もあったものの再び105円台後半まで反落し、105.96レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1279レベルでオープン。独10年国債利回りが史上初めてマイナス圏まで低下する中、ユーロドルは断続的に1.12台前半まで下落。金利が下げ止り反転するとユーロドルも下げ止まり、1.1224レベルでNYへ渡った。欧4月鉱工業生産は前月比+1.1%と市場予想(同:+0.8%)より強い結果となったが、為替相場への影響は限定的となった。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は海外市場で5/31に付けた年初来安値105.55に迫る105.63まで下落し、105.96レベルでNYオープン。朝方発表された米5月小売売上高が市場予想を上回り、同時に発表の5月輸入物価指数も、ガソリン価格の上昇を受け予想を上回り、インフレ期待の上昇の兆しとも見られることから106.12まで上昇。しかし、戻り売り意欲は強く、その後は英国国民投票の世論調査で残留40%・離脱47%・未定又は投票しない13%と報じられたことを受けて円買いも強まり、105.86まで下落する。その後は重要イベントを控えて様子見ムードが強く、午後には106円ちょうど近辺での推移が続く、106.09レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、独10年国債利回りが初のマイナスへ低下したこと等から1.1209まで下落し、1.1225レベルでNYオープン。朝方は一旦ショートカバーが強まる局面も見られたものの、英国国民投票の世論調査結果等を受けてユーロ売りが強まり、1.1189まで下落する。午後には1.1210付近での狭い値動きが続き、1.1204レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:尾身・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月14日	13:30	日 鉱工業生産(確報、前月比/前年比)	4月 0.5%/-3.3%	-/-
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/0.3%	0.3%/0.4%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 1.1%/2.0%	0.8%/1.4%
	21:30	米 輸入物価指数(前月比/前年比)	5月 1.4%/-5.0%	0.7%/-5.9%
	21:30	米 小売売上高(速報、前月比)	5月 0.5%	0.3%

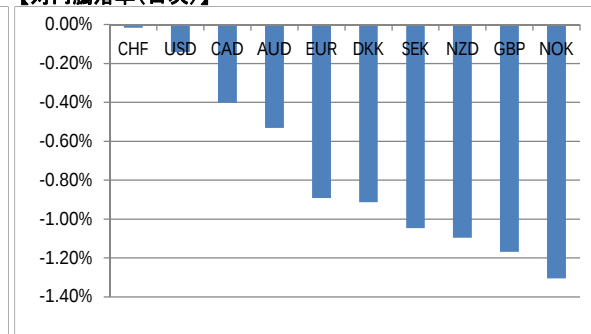
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前日
6月15日	09:30	豪 ウェストバック消費者信頼感指数	6月 -	8.5%
	15:00	日 工作機械受注(前年比)	5月 -	-25.0%
	15:45	仏 EU基準CPI(確報、前月比/前年比)	5月 0.3%/0.0%	0.3%/0.0%
	15:45	仏 CPI(確報、前月比/前年比)	5月 0.4%/-0.1%	0.4%/-0.1%
	17:30	英 ILO失業率	4月 5.1%	5.1%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	9.3%
	21:30	米 PPI(最終需要、前月比/前年比)	5月 0.3%/-0.1%	0.2%/0.0%
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	6月 -4.90	-9.02
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 -0.2%	0.7%
6月16日	03:00	米 FOMC政策金利	-	0.25%-0.50%
	03:30	米 イエレンFRB議長講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.50	1.1100-1.1250	117.00-119.50

【マーケットインプレッション】

昨晩のドル円相場は上値重い推移が継続した。欧州時間には株式市場の弱まりを背景にドル円も一時年初来安値105.55円に迫る105.63円まで下値を更新した。再び106円付近まで戻すものの、株式市場の低迷、英国国民投票の世論調査における離脱派の台頭などがリスクセンチメントを悪化させ、終始下押し圧力がかかる相場展開が継続した。

本日のドル円相場は今晚予定されているFOMCの結果次第では一段と下落する可能性がある。東京時間日中は今夜のイベントを控えて現行レベルである106円付近で様子見となるだろう。FOMCは東京深夜3時に政策金利の発表、3時半にイエレン議長インタビューが予定されており、今後の米利上げ見通しが一段と低下するような発言が見られれば一段のドル売りを誘発させ、年初来安値を更新し105円付近までレベルを切り下げる理由を与えるだろう。